

○忠実な管理者として生きるために：覚えておくべき四つの原則

1. 自分の立場を覚えていること(14)
2. 主人からの信頼を覚えていること(14-15)
3. \_\_\_\_\_を覚えていること(16-18)

## ●預かっている“財産”：

1) \_\_\_\_\_

2) \_\_\_\_\_

## ※1ペテロ4:10-11

「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。語る人があれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕する人があれば、神が豊かに備えてくださる力によって、それにふさわしく奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。栄光と支配が世々限りなくキリストにありますように。アーメン。」

## ※1コリント12:7, 11

「しかし、みな益となるために、おのおのに御霊の現れが与えられているのです。…しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。」

(※賜物について：ローマ12:3-8; 1コリント12)

3) \_\_\_\_\_

## ※箴言27:1

「あすのことを誇るな。一日のうちに何が起こるか、あなたは知らないからだ。」

## ※エペソ5:15-17

「そういうわけですから、賢くない人のようにではなく、賢い人のように歩んでいるかどうか、よくよく注意し、機会を十分に生かして用いなさい。悪い時代だからです。ですから、愚かにならないで、主のみこころは何であるかをよく悟りなさい。」

4) \_\_\_\_\_

※ハガル2:8

「銀はわたしのもの。金もわたしのもの。--万軍の主の御告げ--」

※ヘブル13:5-6

「金銭を愛する生活をしてはいけません。いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、またあなたを捨てない。」そこで、私たちは確信に満ちてこう言います。「主は私の助け手です。私は恐れません。人間が私に対して何ができましよう。」」

5) \_\_\_\_\_

※2コリント5:18-20

「これらのことはすべて、神から出ているのです。神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。すなわち、神は、キリストにあつて、この世をご自分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせないで、和解のことばを私たちにゆだねられたのです。 こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。」

4. \_\_\_\_\_を覚えていること(19-30)

※詩篇16:11

「あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。」